



# Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

立：1980年(昭和55年)1月10日  
創会長：松波 恒彦  
幹事：平野 好道  
広報委員長：次嶺 達郎  
例会日：毎週木曜日PM12:30～  
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号  
TEL：052-211-3803  
FAX：052-211-2623  
MAIL：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

奉仕を通じて  
**平和を**

田中作次

2012-13年度  
国際ロータリー会長

## 第1589回例会

～世界理解月間～  
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2013年2月28日(木) 晴 第33回

ランチコンサート  
～チェロとピアノの調べ～

司会：高木元明会場委員  
斉唱：「それこそロータリー」  
ゲスト：セントラル愛知交響楽団チェロ奏者 本橋裕さん  
ビジター：小牧RC 五藤隆夫さん/稲沢RC 山名敬一さん  
名古屋城北RC 太田達夫さん  
豊橋ゴールデンRC 井上穂さん  
東海RC 小島洋一さん  
名古屋大須RC 吉田しおりさん

### 会長挨拶

松波恒彦会長



本日は格調高い例会ということで、セントラル愛知交響楽団チェロ奏者の本橋さんと、当クラブの山田事務局員のクラシックの演奏を皆さんに聞いて頂きたいと思っております。当クラブの平野幹事はアルトサクソフーンを演奏する事ができるのですが、私は普段はクラシックに縁がなく、家にあるピアノは埃をかぶっており、チェロも宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』という話を知っている程度です。しかし、子どもの頃から音楽は好きなので、本日は私が高校時代によく聞いていたビートルズについてお話をさせていただきます。

皆さんもよくご存じの様に、ビートルズは4人組のバンドで、当時はまだEP盤、いわゆるドーナツ盤の『Love Me Do』という曲でデビューしました。そして翌年の'63年には英国で『Please Please Me』というアルバムが30週連続で1位を記録しました。それから翌年には『With The Beatles』というアルバムは21週連続で1位を記録した結果、ほぼ1年間1位を記録した素晴らしいグループです。当時のバンドマンはあまり綺麗ではない服装が多い中、ビートルズはスーツを着て演奏していたので、行儀の良い音楽として認められたそうです。テレビ等の報道でご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、ビートルズは昨年の10月でデビュー50周年を迎え、世界中で色んなイベントが開催されました。ビートルズは1966年にワールドツアーで来日しました。私はこの時にビートルズを見ましたが、当時は音響の設備が整っておらず、会場では観客の歓声で演奏はかき消され、音楽は全く聞こえませんでした。そのため演奏は後日テレビの報道で聞きました。この時のチケットですが、主催はCBC中部日本放送でした。そのチケットは抽選で当たらなければ買えず、他の手段を使っても手に入りませんでした。しかし、『ニューラテンクォーター』という世界中のエンターテイナーが集まるナイトクラブが赤坂にあり、そこのお店の小ママに依頼するとすぐチケットが手に入り、彼女の人脈の広さに関心しました。残念ながらビートルズはたった7年で解散しました。その後は亡くなった方もいますが、リング・スターとポール・マッカートニーは今でも活躍されてます。有難うございました。

### 出席報告

鶴田浩出席委員

会員64名 出席41名 (出席計算人数49名)

出席率 75.9%

2月20日は補填により 84.6%

### ニコボックス

鶴田浩ニコボックス委員

- ・地区研修委員会から来ました。本日は宜しくお願いします。  
地区研修委員 稲沢RC 山名 敬一さん
- ・本日はお世話になります。天野地区研修委員の友情に感謝致します。  
地区研修委員 名古屋城北RC 太田 達夫さん
- ・地区研修委員会 本日、お世話になります。宜しくお願いします。  
地区研修副委員長 小牧RC 五藤 隆夫さん
- ・先月に続いて2度目のメイクアップです。お世話になります。  
地区研修委員 豊橋ゴールデンRC 井上 穂さん
- ・2月18日は小生の誕生日でした。63歳になります。  
宗宮 信賢さん
- ・2週間前2月14日は結婚記念日でした。  
長坂 邦雄さん
- ・2月18日は妻の誕生日でした。綺麗なお花を有難うございました。  
近藤 雄亮さん
- ・本日は地区研修委員会より講師として井上さん、山名さん、五藤さん、太田さんをお迎えしました。  
長瀬憲八郎さん
- ・当クラブ研修会に地区研修委員より4名様にご参加要請致しましたところ、快諾して本日ご出席頂きました。誠に有難うございます。  
天野 正明さん
- ・長瀬さん、天野さん、本日の研修会宜しくお願いします。  
松波 恒彦さん
- ・今日は地区研修委員会の皆様宜しくお願いします。太田先輩、楽しみにしています。やさしくお願いします。鈴木淑久さん、ありがとうございました。  
高木 勝さん
- ・先日、家内の友人夫婦が来名しました時に、蓬萊軒さんにご案内し、大変よくして頂き、友人夫婦も大変喜んで帰ってくれました。有難うございました。本日も家内は妹とお世話になっております。  
平野哲始郎さん
- ・2月20日は誕生日でした。I.Mの日でしたが、決して御馳走ではありませんでした。  
松井 善則さん
- ・野崎さん、今週末宜しくお願いします。  
鈴木 淑久さん
- ・先日、関谷先輩ご出席ありがとうございました。  
山口 哲司さん
- ・本日の研修会、お世話になります。  
高木 元明さん
- ・本日、研修会お世話になります。  
鶴田 浩さん

### 幹事報告

平野好道幹事

- ・本日13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第3回R情報・研修委員会(若手会員研修会)を行います。
- ・3月7日(木)13:40よりヒルトン名古屋4階「梅の間」にて第5回CA・第9回理事会を行います。
- ・第8回理事会についてご報告します。  
米山奨学生の受入れは断る事に決まりました。  
長期ビジョン委員会は次年度も存続する事に決まりました。  
台北延平RC36周年記念式典に事務局2名参加します。そのため、3月14日、15日は事務局が休みとなります。  
東ヶ崎崎ダイアログハウスへの寄付は行わない事に決まりました。
- ・名古屋北RCより第3回フォト俳句展の案内がございます。写真1枚、俳句1句のセットでご応募下さい。締切は5月7日、費用は1出展につき¥7,000です。開催期間は5月27日より6月3日までフォトサロン「サン・ルウ」(栄公園の近く)にて開催されます。出店ご希望の方、またご覧になる方は事務局に案内がございますので、お申し出下さい。

## ランチコンサート ～チェロとピアノの調べ～

### 挨拶：事務局員 山田愛子さん

皆様こんにちは。本日は卓話ではなく、ランチコンサートと題しまして、チェロとピアノの音楽をお楽しみ頂きたいと思っております。珈琲片手にお気軽にお聴き下さい。私は張り切ってドレスに着替えてまいりましたので、頑張って演奏したいと思っております。まず、サンサーンスの『白鳥』をお届けいたします。宜しくお願いします。



### ～演奏～ 『動物の謝肉祭』より『白鳥』/サン=サーンス

### 挨拶：セントラル愛知交響楽団チェロ奏者 本橋裕さん

本日はお招き頂き誠にありがとうございます。セントラル愛知交響楽団というオーケストラでチェロを弾いています。チェロは普段オーケストラで演奏している時は、本日の様に旋律ばかりを弾くことはあまりありませんが、本日は山田さんという素晴らしいピアニストと演奏できることを楽しみにして参りました。



皆さんはこんなに近くでチェロという楽器をご覧になる機会はありませんかと思っております。

チェロやバイオリンという弦楽器のことを簡単にお話させて頂きながら、演奏をすすめて参りたいと思っております。短い時間ですが最後までゆっくりお楽しみ下さい。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

バイオリンが登場したのは1500年頃だと言われております。バイオリンというのはある時突然発明されたと言われており、それまでは弦楽器というギターやヴィオラ・ダ・ガンパなどがありました。バイオリンの登場により、世界が一変して参ります。バイオリンが歌と同じくらい音楽界の主役となり、その後遅れてチェロが登場します。しかしチェロは大きくて、当時の技術では器用に演奏するのが困難だった為、主役にはなりえない楽器でした。それが時代を経て、イタリアあたりからチェロを主役にした曲が増えてきて、バッハが『無伴奏チェロ組曲』という曲を作りました。1つの組曲は6つの曲で構成されており、それが6組あるので全体では36曲から成っています。この曲は練習曲の様に思われて、芸術作品としては中々認められなかったのですが、戦前戦後の大チェリスト、スペインのパブロ・カザルスがこの曲を見つけ、今では世界中のチェリストが旧約聖書のような位置付で演奏するようになりました。

それでは、バッハの『無伴奏チェロ組曲第1番』より『前奏曲』を聞いて頂きたいと思っております。

### ～演奏～ (チェロ独奏)『無伴奏チェロ組曲第1番』より『前奏曲』/バッハ

バッハの『無伴奏チェロ組曲第1番』より『前奏曲』を聞いて頂きました。大変知られた曲で、耳にされたことがあるのではないかと思います。この曲を演奏させて頂きました。このチェロですが、どの様な素材でできているのかという事をお話していきたいと思っております。弦楽器の中でバイオリン属は世界共通で同じ材料を使うことになっています。表の板と、裏板、横、ネックでは若干材料が違います。表の板はマツ科のトウヒという木で、別名スプルースとも言います。モミの木のような針葉樹でアルプスや北イタリアの辺りで採れるものが大変良いものとされており、ストラディバリウスはその材料が使われています。ピアノにある響板にも同じ材料が使われます。裏板と横とネックは楓の木を使用します。高級なものにはポスニアやルーマニアで採れます。指板には黒檀を使用します。その上に弦が4本張ってあり、この弦を弓でこすったり指で弾いたりして音を出します。弓に使われる木は南米のアマゾンで採れるフェルナンブコという品種が最高級と言われていますが、乱伐が原因で今では絶滅種と言われるくらい採れなくなってきています。その為に木自体が大変高級になってしまい、なかなか入手が困難になりました。

普段、私はオーケストラで演奏する機会が多いのですが、時々この様に1、2人、多くても5、6人で演奏することもあります。私達、セントラル愛知交響楽団は河合楽器と提携しており、「KAWAI室内楽シリーズ」を開催しております。事務局員の山田さんにもその演奏会に

出演して頂いたことがきっかけで、本日はここで共演をさせて頂いております。「KAWAI室内楽シリーズ」という室内楽の演奏会は前半がピアニスト1人で独奏するプログラムのリサイタルで、本日はその時に演奏したカプースチンというウクライナの作曲家の曲を演奏して頂きます。彼の作風はジャズとクラシックを融合した独特な曲が多く、高度な演奏技巧が求められるピアノ曲が多数あります。では、『8つの演奏会用エチュード』より『前奏曲』を聞いて頂きたいと思っております。

### ～演奏～ (ピアノ独奏)『8つの演奏会用エチュード』より『前奏曲』/カプースチン

カプースチンの『8つの演奏会用エチュード』より『前奏曲』を聞いて頂きました。この後はまたピアノとチェロで演奏します。

ロシアにラフマニノフというピアニスト兼作曲家がいました。彼は非常に大きな手の持ち主で、片手で12度の音程がつかめたそうです。技術もとてもありました。そのラフマニノフが作曲した『ヴォカリーズ』という曲を演奏します。元々この曲は歌詞を伴わずに母音のみによって歌う歌唱法を指します。チェロとピアノの相性が大変良いのでこの曲を選びました。

それではこの曲が最後となりますが、アンコールも何曲かご用意していますので、是非宜しくお願い致します。

### ～演奏～ 『ヴォカリーズ』/ラフマニノフ

鳴り止まぬ拍手をありがとうございます。それではアンコールに移らせて頂きます。先程、松波会長からビートルズのお話がありましたので、ビートルズの曲を少し演奏します。

### ～演奏～ (チェロ独奏)『let it be』/ビートルズ

### ～演奏～ 『紡ぎ歌』/ポッパー



## 例会のご案内

### ■今週の卓話 3月7日(木)

卓話講師：社会福祉法人 日本介助犬協会  
事務局員 高柳友子さん

テ－マ：障がい者の自立を支える介助犬

### ■3月14日(木) R規定により休会

### ■次々週卓話 3月21日(木)

卓話講師：有限会社旅工房  
代表取締役社長 寺西正さん

テ－マ：知って得する旅の裏話